お部屋に合わせてカスタマイズもできる

難易度 ★★☆

# ディスプレイラック



## 材料

●桐集成材 1820×250×18mm
(A)520×250×18mm　2枚　(B)336×250×18mm　2枚
(C)20×295×15mm　(D)30×295×15mm

●桐集成材 600×300×15mm
(E)300×250×15mm　(F)295×300×15mm
(G)50×20×15mm　4本

●MDF 600×450×5.5mm　556×336×5.5mm

●S-241 棚ダボ
●ストレートビット 5mm
●スリムねじ
3.3×25mm/3.3×30mm/3.3×35mm
●シリコンスプレー 420ml
●ミルクペイント 450ml
ピスタチオグリーン / クリームバニラ

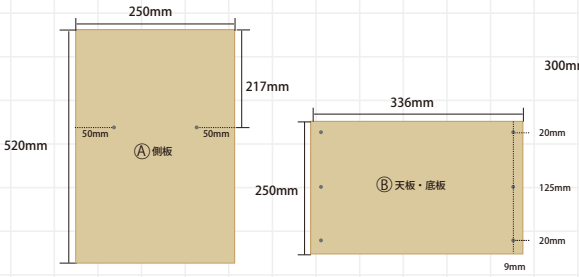
※ドリルドライバー、トリマー、サンダー、ハタ金、差し金、多用途接着剤、ローラー、刷毛等

## 作り方

### step 01 木材を加工する



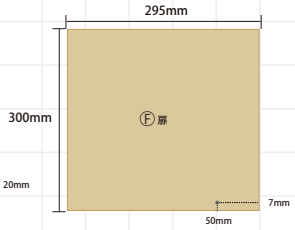
サイズにカットした材料を面取りしたら、(A)(B)(F) にスリムねじを打つための下穴をあける。(図１～３ 参照)



【図 1】



【図 2】



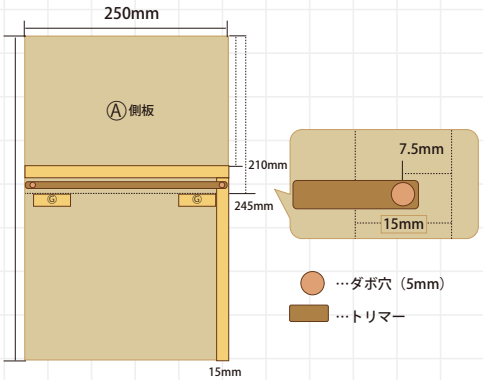
【図 3】

### step 02 スライドの溝をつくる

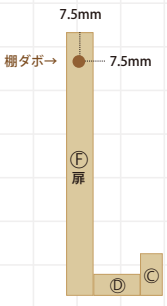
側板 (A) にフラップ扉をスライドさせる機構をつくる。
図のように 5 mm のダボ穴をあけたら、トリマーを使って溝を掘っていく。治具をつくっておくと、真っ直ぐ正確な溝が掘れる。(図４、５参照)
ダボ穴をあける時は、棚ダボの長さに合わせてドリルの刃にビニールテープを巻いておくと便利。







【図４（A）】側板／スライド機構



【図５（F）】とびら / 横

お部屋に合わせてカスタマイズもできる

# ディスプレイラック

## step 03 塗装をする

本体の外側になる部分の桐集成材とMDF はミルクペイント ピスタチオグリーンで、棚板と扉はミルクペイントクリームバニラで塗装する。広い面はローラーを、木口などの狭い部分は刷毛で塗装すると仕上がりがきれいになる。





## step 04 スライド部分を調整する

塗装が乾いたら、扉のダボ穴に接着剤で棚ダボを付ける。棚ダボ ( 金属 ) と木材を接着させる時は、多用途接着剤がおすすめ。シリコンスプレーを屋外やよく換気をした室内で吹きつける。





## step 05 扉を取り付ける

扉を収納した時に受けになる (G) をスリムねじで留める。(図 4 参照)



## step 06 扉と本体を組み立てる

扉 (F) に本などの受け部分になる (C)(D) を接着剤とスリムねじで取り付ける。(図 5 参照)
ラックの片方の側板に天板と底板を取り付けたら、扉を溝にはめた状態でもう一方の側板をスリムねじでとめる。扉が正面に来るよう向きに注意し、上手くスライドするかどうかをよく確認してから組み立てる。



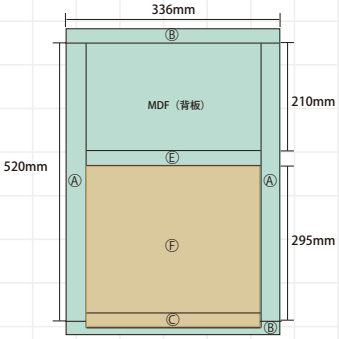


## step 07 棚板を取り付ける

最後に棚板と背板を取り付けて完成。ハタ金で本体を固定して棚板が側板に対して直角になるように取り付ける。ハタ金を使って組み立てると、材料が浮いたり取り付け時にゆがむのを防ぐことができる。(図 6 参照)








【図 6】扉を閉じた時の正面

＜完成＞

